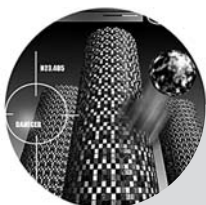


Home Projector EMP-TW20

取扱説明書



お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方

本機の説明書は、次の2冊で構成されています。以下の順番でお読みください。



- ① 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に、必ずご覧ください。
- ② 取扱説明書(本書)
本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味







安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
 手	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
 ▶▶	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。 「付録 用語解説」をご覧ください。📖 p.48
  など	リモコン、または操作パネルのボタンを示しています。
「(メニュー名)」	環境設定メニューの項目を示しています。 例:「映像」→「カラーモード」
「[(名称)]」	本機の接続端子名を示しています。 例:[InputA]

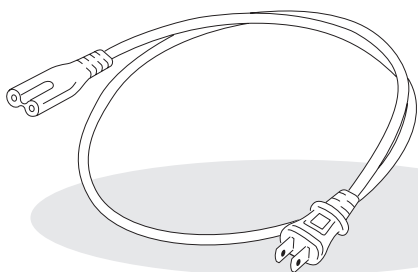
「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほか、同梱品や別売品も含まれる場合があります。

同梱品の確認

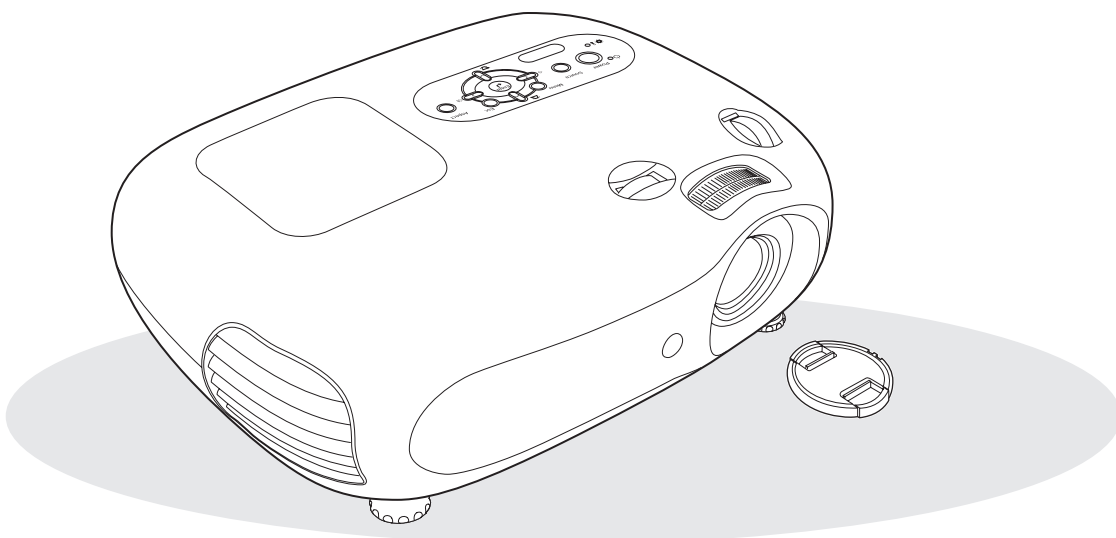
下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

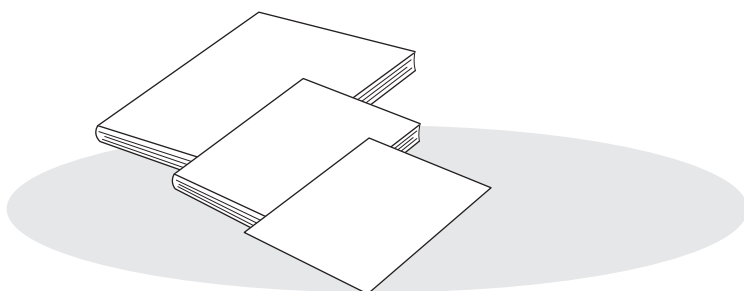


- 電源ケーブル（日本国内用1.8m）
本機と電源コンセントを接続します。

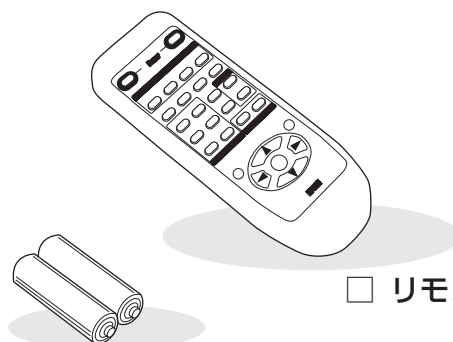
- プロジェクタ本体（レンズカバー付属）



ドキュメント類



- 安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内
- 取扱説明書
- 保証書



- リモコン
- 単3形マンガン乾電池（2本）
リモコンにセットして使います。

目次

■本機の特長.....	4	リモコン.....	7
■各部の名称と働き.....	6	背面.....	8
前面/上面.....	6	底面.....	8
本体操作パネル.....	6	■外形寸法図.....	9

使い始めるまでの準備

■設置しよう.....	10	■映像機器と接続しよう.....	12
投写サイズを調整する.....	10	■リモコンを準備しよう.....	13
レンズシフトの範囲.....	10	リモコンに電池をセットする.....	13
いろいろな投写方法.....	11	リモコンの使い方と操作範囲.....	13

基本操作

■電源を入れて投写しよう.....	14	ピント調整(フォーカス調整).....	16
電源を入れる.....	14	投写サイズの微調整(ズーム調整).....	16
入力ソースを切り替える.....	15	投写映像の位置調整(レンズシフト).....	16
電源の切りかた.....	15	本機の傾きを補正する.....	16
■投写画面と音量を調整しよう.....	16	映像のゆがみを補正する(台形補正).....	17
		音量を調整する.....	17

画質の調整

■画質の調整をしよう.....	18	色温度.....	20
映り具合を選ぶ(カラーモード).....	18	■登録した画質で映像を見よう(メモリ機能).....	22
ワイド画面で映像を投写する(アスペクト) ...	18	画質の登録(メモリ登録).....	22
■こだわりの色調整をしよう.....	20	登録した画質の呼び出し(メモリ呼出).....	22
肌の色調整.....	20		

環境設定メニュー

■環境設定メニューの機能.....	24	設定メニュー.....	27
環境設定メニュー一覧.....	24	初期化メニュー.....	30
映像メニュー.....	26	環境設定メニューの操作.....	31

困ったときに

■故障かなと思ったら.....	32
インジケータの見方.....	32
●⚠(異常/警告)インジケータ 点灯・点滅時..	32
●Ⓞ(オペレーション)インジケータ 点灯・点滅時.....	32

インジケータを確認してもわからないとき... 33	
●映像に関するトラブル.....	33
●投写開始時のトラブル.....	37
●その他のトラブル.....	37

付録

■お手入れの方法.....	38
各部の掃除.....	38
●エアーフィルタ・吸気口の掃除.....	38
●本体の掃除.....	38
●レンズの掃除.....	38
消耗品の交換時期.....	39
●エアーフィルタの交換時期.....	39
●ランプの交換時期.....	39
消耗品の交換.....	40
●エアーフィルタの交換方法.....	40
●ランプの交換方法.....	40
●ランプ点灯時間初期化.....	40

■オプション品一覧.....	42
■対応解像度一覧.....	43
●コンポーネントビデオ.....	43
●コンジットビデオ/S-ビデオ.....	43
●RGBビデオ/コンピュータ.....	44
■仕様一覧.....	45
RS-232Cケーブル配線.....	46
■用語解説.....	48
■索引.....	50

本機の特長

▶ ご覧になるお部屋や映像に合わせた映り具合の選択 (カラーモード)

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写。面倒なカラー調整は不要。

「ナチュラル」「シアター」「シアター・ブラック1」「シアター・ブラック2」を選択すると、自動的にエプソンシネマフィルタが装着され、映像全体がしまり、人物の肌の色もより自然な色合いになります。▶ p.18



シアター・ブラック1
シアター・ブラック2

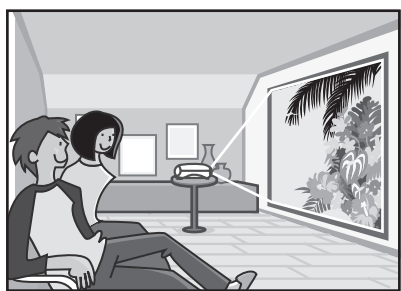
ダイナミック

カラー
モード

シアター

リビング

ナチュラル

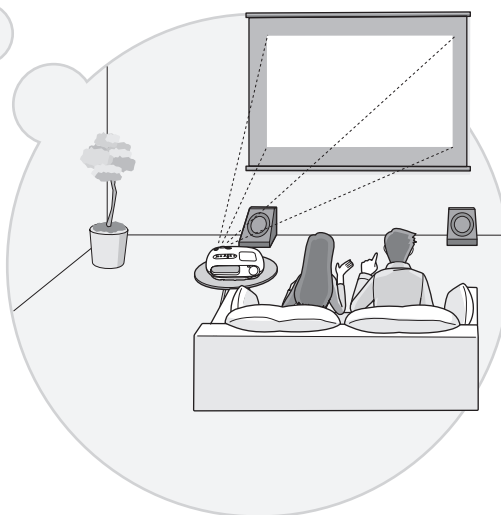
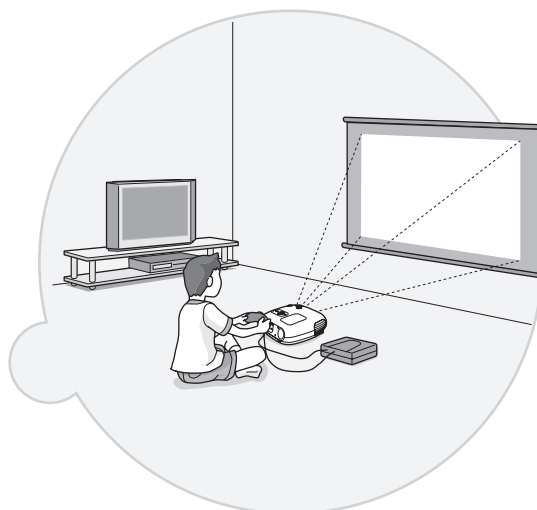
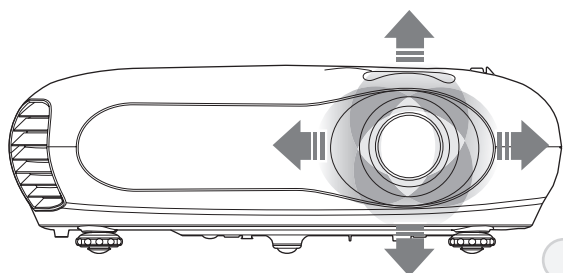


▶ こだわりの色調整

カラーモードに加え、さらにお好みに合わせて「色温度」「肌の色調整」を簡単に調整できます。「色温度」の調整を行うことで、映像全体の色合いを暖色系や寒色系に変更できます。肌の色はエプソンシネマフィルタで自然な色合いに調整されますが、さらに「肌の色調整」でお好みの色に変更することができます。▶ p.20

▶ 広角レンズシフト搭載

投写映像の位置を、映像をゆがめることなく上下・左右に調整できるレンズシフト機能を搭載。天吊りにしたり、スクリーンのサイドから投写したり設置場所を選びません。☞p.16



▶ 1.5倍短焦点ズームレンズ搭載

1.5倍短焦点ズームレンズ搭載しているので、6畳間で120型の画面(16:9のスクリーンの場合)へ投写することもできます。☞p.10

▶ 蓄光式リモコン付属

暗い場所でボタンが光る蓄光式のリモコンを付属。部屋を暗くして映画を鑑賞するときなどに便利です。☞p.7









▶ 映像に合わせて設定できる豊富な機能

その他にも、以下のような多彩な機能があります。








- 動きの大きい映像や静止画などに合わせて選べる **プログレッシブ** 変換 ☞p.27
- ワイド映像をご覧いただける **アスペクト機能** ☞p.18
- 調整した結果を登録しておき、リモコンのボタンで簡単に呼び出すことができる **メモリ機能** ☞p.22
- お子様の本機の電源を入れ、誤ってレンズをのぞかないようにする **チャイルドロック** ☞p.28




各部の名称と働き

前面 / 上面

- 操作パネル  下記参照
- ランプカバー  p.40
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- 排気口
△注意
投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
- リモコン受光部  p.13
リモコン信号を受信します。
- 左右レンズシフトダイヤル  p.16
投写レンズを左右に移動します。
- 上下レンズシフトダイヤル  p.16
投写レンズを上下に移動します。
- ズームリング  p.16
投写映像のサイズを調整します。
- フォーカスリング  p.16
投写映像のピントを合わせます。
- レンズカバー
本機を使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。
- フロントフット  p.16
机上に設置したとき、水平の傾きを調整するときに伸ばします。

本体操作パネル

- Sourceボタン  p.15
入力ソースを選択します。
 - Powerボタン  p.14
電源をオン/オフします。
 - Menuボタン  p.31
環境設定メニューを表示/終了します。
 - Escボタン  p.18,20,22,31
環境設定メニューやセレクトメニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。
 - Aspectボタン  p.18
アスペクトを選択します。
- (オペレーション)インジケータ  p.32
本機の動作状態を色や点灯・点滅で示します。
 - (異常/警告)インジケータ  p.32
本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。

- Enterボタン  p.18, 20, 22, 31
環境設定メニューやセレクトメニュー表示中は、メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。
- ▲ / ▽ ▼ / ▹ ボタン  p.17,18,20,22,31
環境設定メニューやセレクトメニュー表示中は、項目を選択する上下ボタンとして使います。上記メニューが表示されていないときは、台形ゆがみを補正します。
- ◀ / ▶ ボタン  p.17,20,31
環境設定メニューの調整値を選択する左右ボタンとして使います。上記メニューが表示されていないときは、音量を調整します。

リモコン

説明のないボタンは、本体操作パネルに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。

- **リモコン発光部** p.13
リモコン信号を出力します。
- **Stillボタン**
押すたびに映像を一時停止/解除します。
- **Aspectボタン** p.18
- **A/V Muteボタン**
押すたびに映像と音声を一時的に消去/解除します。
- **On/Offボタン** p.14
プロジェクターの電源をオン/オフします。
- **Source ボタン** p.15
 - **InputAボタン**
[InputA]端子からの映像に切り替えます。接続している機器に合った映像信号に切り替える場合には、セレクトメニューで設定します。切り替えた設定は「入力信号選択」の「InputA」設定に反映されます。
 - **InputBボタン**
[InputB]端子からの映像に切り替えます。
 - **S-Videoボタン**
[S-Video]入力端子からの映像に切り替えます。
 - **Videoボタン**
[Video]入力端子からの映像に切り替えます。
- **Autoボタン** p.27
RGBビデオ映像やコンピュータのアナログRGB映像を自動調整し、最適化します。
- **Keystoneボタン** p.17
- **Volumeボタン** p.17
音量を調整します。
- **Escボタン** p.18, 20, 22, 31
- **Enterボタン** p.18, 20, 22, 31
- **Menuボタン** p.31
- **Directional Padボタン** p.18, 20, 22, 31

Pictureボタン










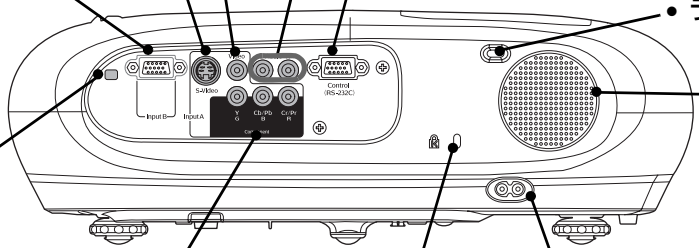
- **Brightボタン** p.26
明るさを調整します。
- **Contrastボタン** p.26
コントラストを調整します。
- **Color Tempボタン** p.20
色温度を選択します。
- **S.Toneボタン** p.20
肌の色を調整します。
- **Color Modeボタン** p.18
カラーモードを選択します。
- **Memoryボタン** p.22
登録したメモリを呼び出します。






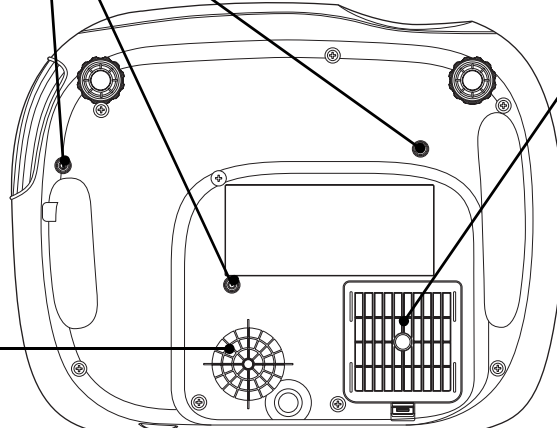
ポイント

ボタンは蓄光式です。太陽光や照明の下などに置いておくと光を蓄え、暗い場所で光ります。

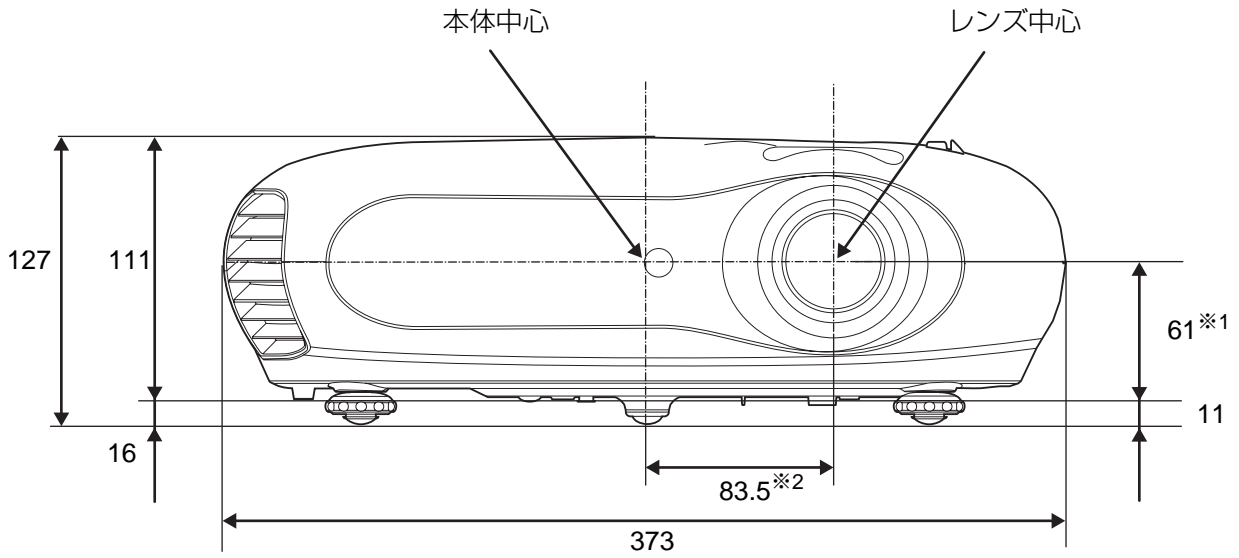
背面

- **[Video]入力端子**  p.12
ビデオ機器の一般的な映像端子と接続します。
 - **[S-Video]入力端子**  p.12
ビデオ機器の S-ビデオ端子と接続します。
 - **[InputB]端子**  p.12
コンピュータのRGB端子と接続します。
 - **[Audio]入力端子**  p.12
接続した機器の音声信号を入力します。ビデオとコンピュータ共通の入力端子のため、複数の機器を接続する場合は、ケーブルを抜き差しするか、音声セレクタ(市販品)をお使いください。
 - **[Control(RS-232C)]端子**
RS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。プロジェクター制御用の端子で通常は使用しません。
 - **ランプカバー開スイッチ**
 - **スピーカー**
 - **リモコン受光部**  p.13
リモコン信号を受信します。
 - **[InputA]端子**  p.12
ビデオ機器のコンポーネントビデオ(YCbCr^{▶▶}やYPbPr^{▶▶})端子やRGB端子と接続します。
 - **[電源]端子**  p.14
電源ケーブルを接続します。
 - **盗難防止用ロック^{▶▶}()**  p.48
- 

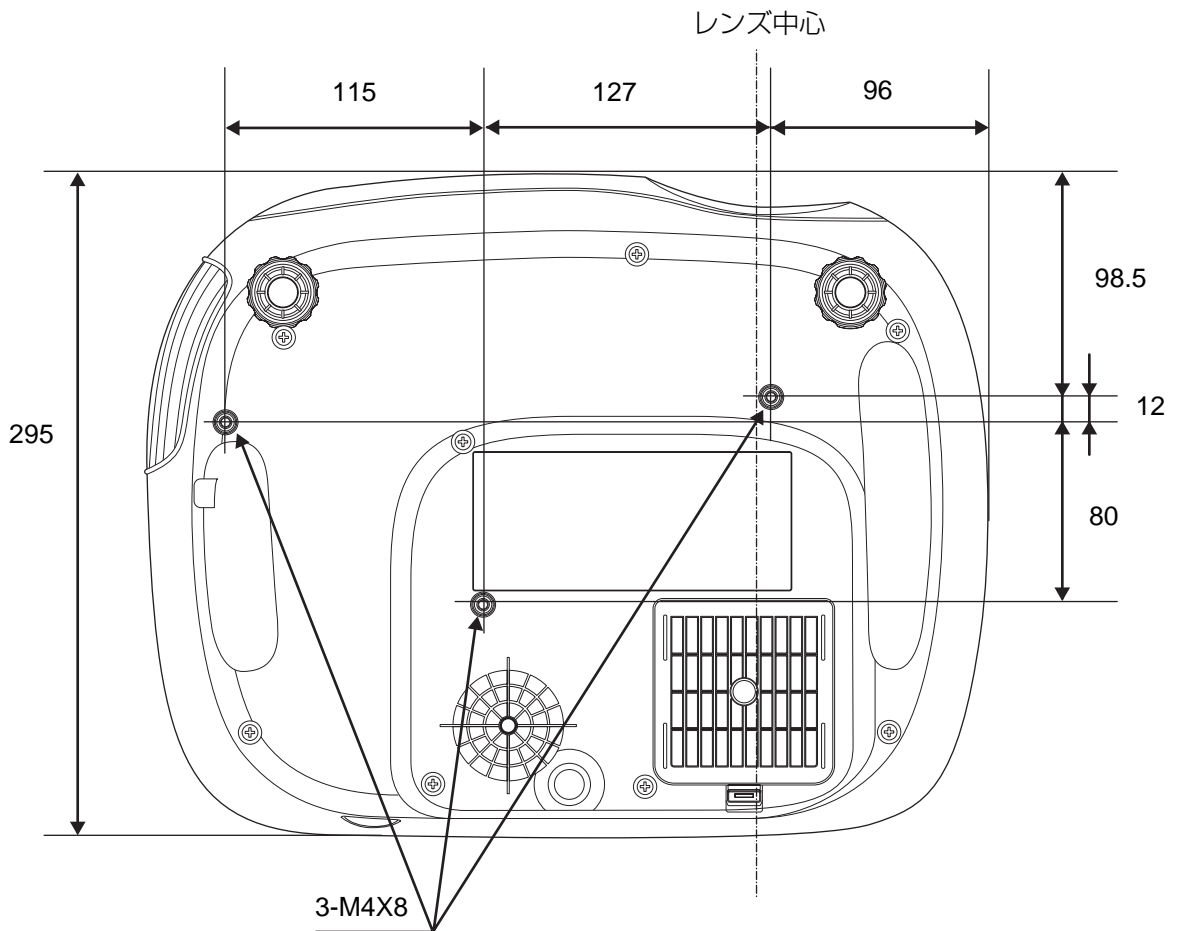
底面

- **天吊固定部(3箇所)**  p.42
天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊金具を取り付けます。
 - **吸気口**  p.38
定期的に掃除してください。
 - **エアフィルタ(吸気口)**  p.38,40
吸気時に本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。
- 

外形寸法図



- ※1 レンズ中心から天吊固定部までの寸法
(レンズシフト量: 上下方向最大3.4 mm)
- ※2 レンズ中心から本体中心までの寸法
(レンズシフト量: 左右方向最大3.0 mm)



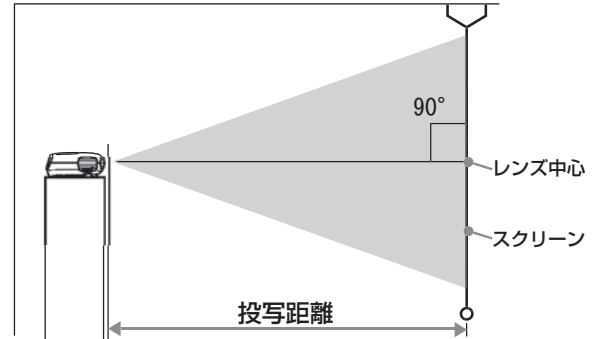
単位:mm

投写サイズを調整する

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

注意

- 設置にあたっては別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。



レンズ中心からスクリーン下端までの高さは、レンズシフトの状態により異なります。

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

単位:cm

16:9 スクリーンサイズ		投写距離	
		最短 (ズーム調整ワイド)	最長 (ズーム調整テレ)
30型	66×37	73	~ 111
40型	89×50	99	~ 149
60型	130×75	149	~ 225
80型	180×100	200	~ 301
100型	220×120	251	~ 377
120型	270×150	301	~ 453
150型	330×190	377	~ 567
200型	440×250	504	~ 757
300型	660×370	757	~ 1137

単位:cm

4:3 スクリーンサイズ		投写距離	
		最短 (ズーム調整ワイド)	最長 (ズーム調整テレ)
30型	61×46	90	~ 136
40型	81×61	121	~ 183
60型	120×90	183	~ 276
80型	160×120	245	~ 369
100型	200×150	307	~ 462
120型	240×180	369	~ 555
150型	300×230	462	~ 694
200型	410×300	617	~ 927
300型	610×460	927	~ 1392

レンズシフトの範囲

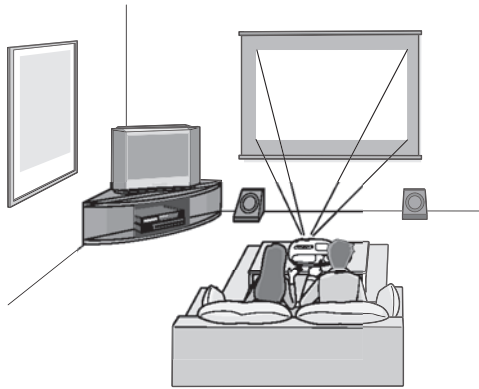
レンズシフトダイヤルを使って映像を投写する位置を調整できるため、次のようなとき設置の自由度が広がります。 [☞ p.16](#)

- 天吊りで使用するとき
- 高い位置にスクリーンがあるとき
- スクリーンの正面に座って映像を見るために本機を横に置くとき
- 棚の上などに本機を置くとき

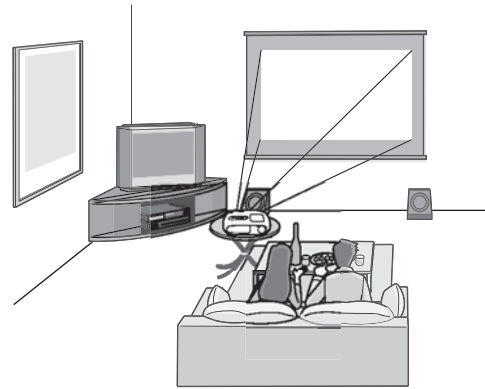
レンズシフトは光学式のためデータ処理による画質の劣化はほとんどありません。

いろいろな投写方法

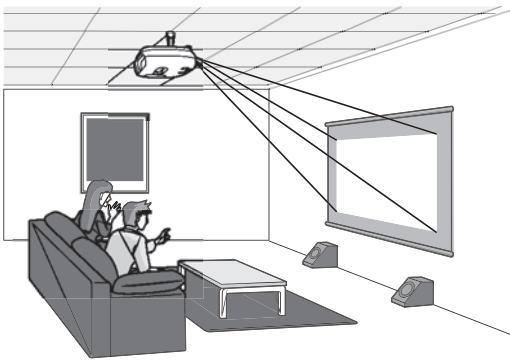
正面から投写する



スクリーンのサイドから投写する



天吊りして投写する



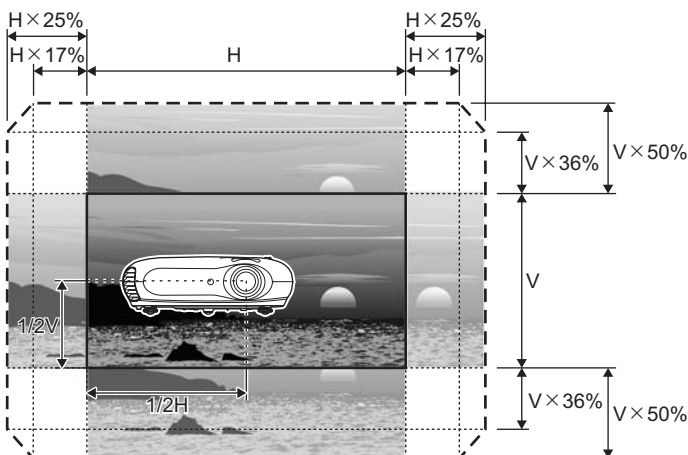
天吊りにして投写する場合は、環境設定メニューの設定を変更します。

環境設定メニュー



ポイント

- 寝室などホコリの多い部屋への設置は、できるだけ避けてください。エアフィルタは約3ヶ月に一度は掃除してください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。
- 窓際に設置する場合は、壁と排気口の隙間を20cm以上あけてください。
- 天吊りには特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。



※画面を上下と左右の両方とも最大値にシフトすることはできません。

例)画面を左右いっぱいシフトしたときは、上下に画面高さの36%動かすことができます。画面を上下いっぱいシフトしたときは、左右に画面横幅の17%動かすことができます。

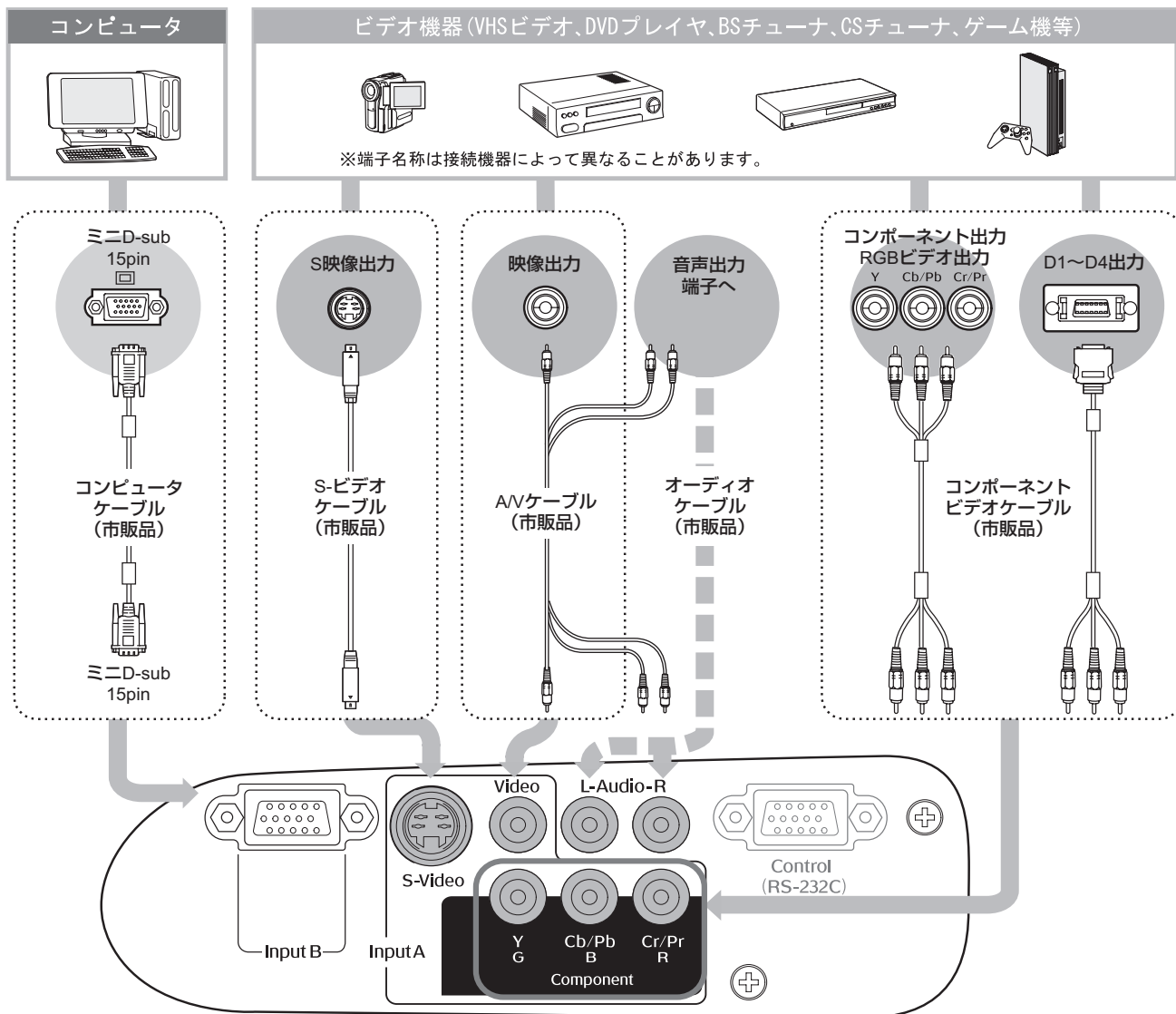
基準投写位置
(レンズシフト位置中心時)

基準投写位置から
調整可能な
画面シフト範囲

映像機器と接続しよう

注意

- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。



ポイント

- 接続する機器によっては、その機器特有のコネクタ形状をしている場合があります。その場合は、その機器の同梱かオプションのケーブルで接続します。
- ビデオ機器から出力されるビデオ信号の方式により、本機との接続に使用するケーブルが異なります。ビデオ機器によっては、何種類かのビデオ信号を出力できるものがあります。一般的にビデオ信号方式は、次の順で画質がよいとされています。
コンポーネントビデオ方式 > S-ビデオ方式 > コンポジットビデオ方式
 どのビデオ信号方式で出力できるかはお使いのビデオ機器に添付の『取扱説明書』で確認してください。コンポジットビデオ方式は単に「映像出力」と呼ばれる場合もあります。

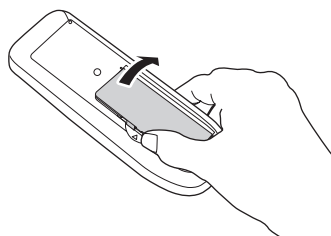
リモコンを準備しよう

リモコンに電池をセットする

リモコンには電池がセットされていません。使い始めるときは、同梱の電池をセットします。

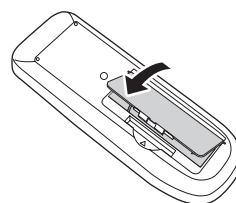
1 電池カバーを開けます。

つまみを押さえながら上へ持ち上げます

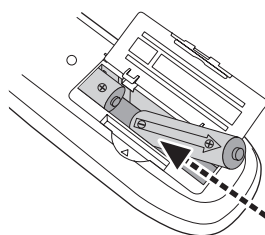


3 電池カバーを閉めます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



2 電池をセットします。



注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(+)
(-)を正しくセットしてください。

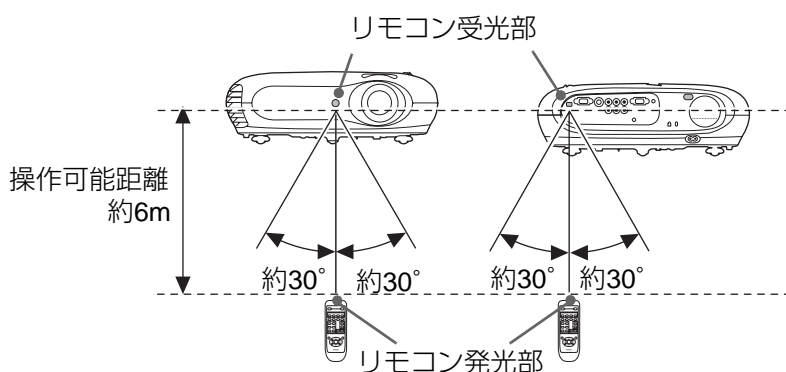
使い始めるまでの準備

電池の交換時期について

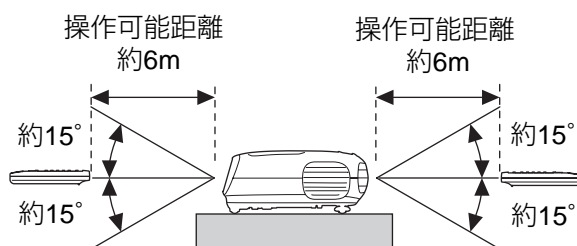
使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池には、新品の単3形乾電池2本を用意してください。

リモコンの使い方と操作範囲

操作可能範囲(左右)



操作可能範囲(上下)



電源を入れて投写しよう

電源を入れる

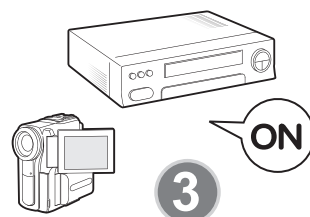
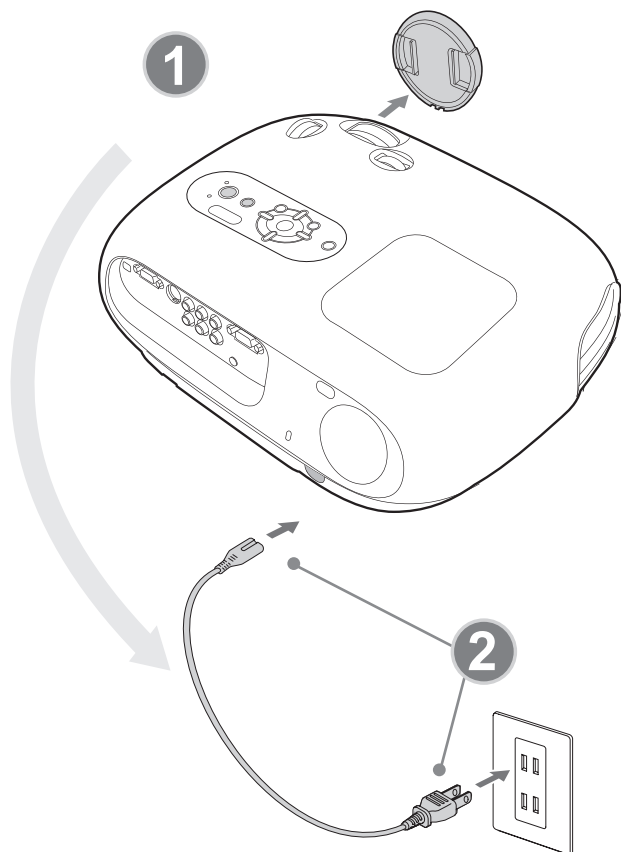
- 1 レンズカバーを外します。
- 2 同梱の電源ケーブルで電源プラグと接続します。
- 3 接続機器の電源を入れます(ビデオ機器の場合は、[再生]や[プレイ]ボタンを押し、映像を再生します)。

- 4 本機の電源を入れます。
「ピッ」と起動音が鳴ります。
しばらくするとランプが点灯し、投写を開始します。



ポイント

- 本機には、お子様が電源を入れ、誤ってレンズをのぞかないための「チャイルドロック」機能があります。
☞ p.28
- 標高約1500m以上で使う場合は、「高地モード」を「オン」にします。
☞ p.28



※ビデオ機器の場合は[再生]や[プレイ]ボタンを押します。



ポイント

- 本機には、接続しているRGBビデオ映像やコンピュータ映像の入力信号が切り替わったときに、自動で最適な状態にする自動調整機能が装備されています。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときは、キーや設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。
切り替えは **[Fn]** を押したまま **[F1]** (□ / ▢) などの記載がキー上にある) を押して行います。
切り替え後、しばらくすると投写を開始します。
☞ コンピュータの『取扱説明書』

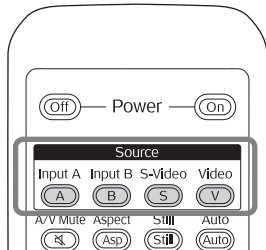
出力切り替えの一例

エプソン	[Fn] + [F8]
NEC	
Panasonic	[Fn] + [F3]
SOTEC	
HP	[Fn] + [F4]
東芝	[Fn] + [F6]
IBM	
SONY	[Fn] + [F7]
DELL	[Fn] + [F8]
富士通	[Fn] + [F10]
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行う。

入力ソースを切り替える

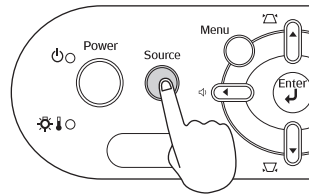
接続機器を複数接続している場合や、映像が映らないときは、リモコンまたは本体のボタンを押して入力ソースを切り替えます。

リモコンでの切り替え



投写したい機器を接続している端子名が表記されたボタンを押します。

操作パネルでの切り替え



セレクトメニュー

Source
○を押すと、セレクトメニューが表示されます。
○で入力ソースを選択します。Enterを押して決定します。

[InputA]端子に接続している場合

[InputA]端子に接続している場合は、接続している機器の映像信号に合うように映像信号を切り替えます。

<リモコンの場合>

[InputA]端子からの映像を投写しているときに、(A)を押すとセレクトメニューが表示されます。

セレクトメニュー



<操作パネルの場合>

[InputA]を選択するとセレクトメニューが表示されます。

または ○ で接続している機器の映像信号と一致するものを選択します。

Enter または Enter を押して決定します。



ポイント

本機を正しく設置・接続しているのに投写に問題があるときは p.33

電源の切りかた

- 1 接続している機器の電源を切ります。
- 2 リモコンの場合
Off を押します。
本体の場合
Power を押すと次のメッセージが表示されるので、もう一度、Power を押します。
- 3 クールダウン(約20秒間)が終了し、「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。
電源を切っただけでは電力を消費しています。
- 4 レンズカバーを取り付けます。
- 5 本機と接続している機器のケーブルを外します。

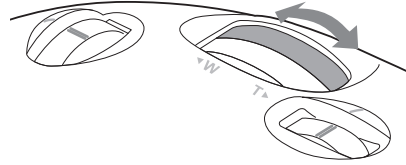
電源を切りますか？

はい: [Power] ボタンを押す
いいえ: 他のボタンを押す

投写画面と音量を調整しよう

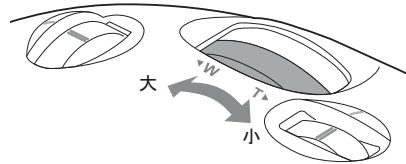
ピント調整（フォーカス調整）

フォーカスリングを回してピントを調整します。



投写サイズの微調整（ズーム調整）

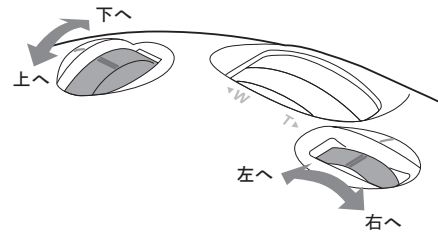
ズームリングを回して、投写映像の大きさを調整します。



投写映像の位置調整（レンズシフト）

2つのレンズシフトダイヤルを使って映像の位置を調整します。

スクリーンに対して正面に本機を設置できない場合に、レンズシフトで位置を調整してください。

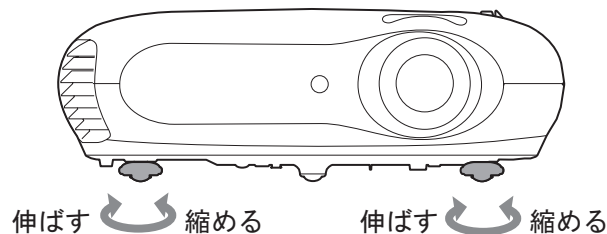


ポイント

- レンズシフトダイヤルと本体上面の印を合わせると、レンズが中央になります。
- レンズシフトダイヤルが重くなり、投写映像が移動しなくなった場合は、最端位置に達したことを示しています。👉 p.10

本機の傾きを補正する

投写映像が水平に傾いている場合は、フロントフットで本機が水平になるように調整します。



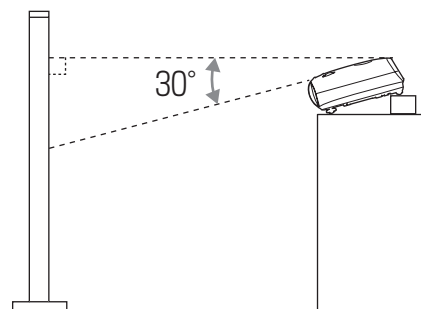
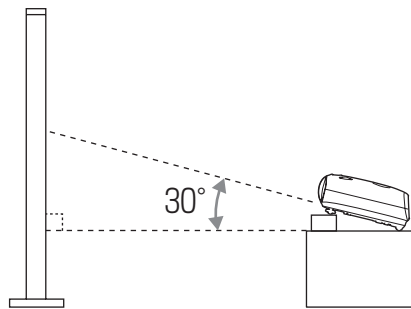
映像のゆがみを補正する（台形補正）

レンズシフトでの調整の範囲を超えて、さらに上下に投写したいときは本機を傾けて設置します。

本機を傾けると投写映像が台形にゆがむことがあります。その場合は、操作パネルの  () またはリモコンの   を押して調整します。

ただし、レンズシフトで調整したときよりも、画質が低下することがあります。



レンズを左右にシフトしているときは、完全に台形補正をすることができません。台形補正を行う際は、レンズを左右方向の中心に設定してください。



上下方向に最大約30°までの傾きであれば、ゆがみを補正できます。



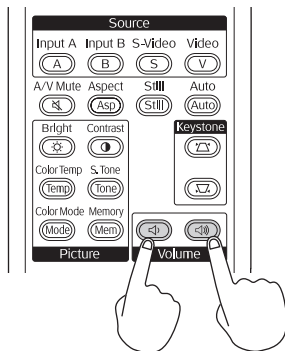
ポイント

- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。 [p.28](#)
- 操作パネルの  を押したまま  を1秒以上押すと、補正值が初期値に戻ります。

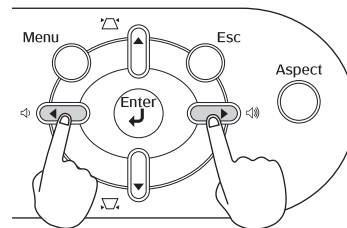
音量を調整する

内蔵のスピーカの音量を調整します。

リモコンの操作



操作パネルの操作



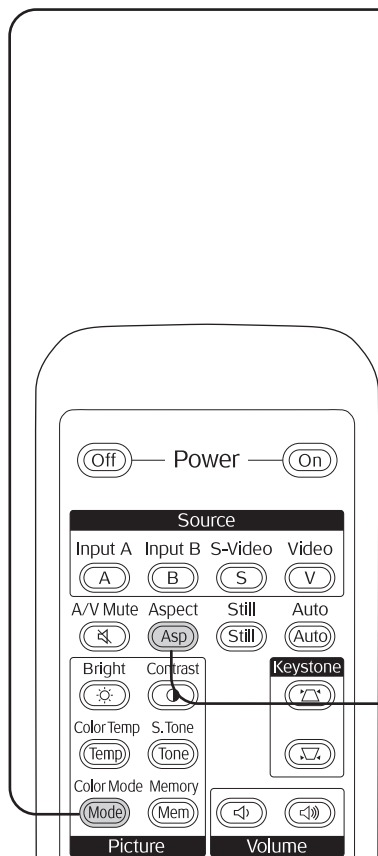
 側を押すと音量が上がり、 側を押すと下がります。



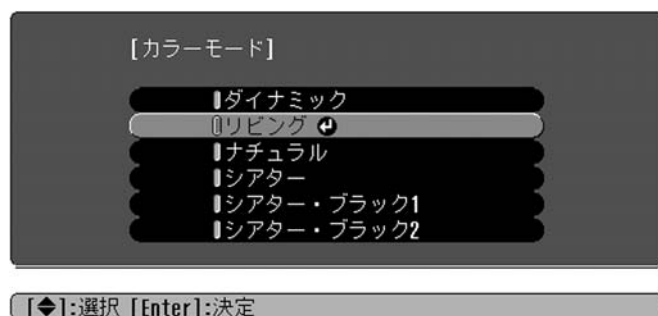
ポイント

- 音量は環境設定メニューでも調整できます。 [p.30](#)

画質の調整をしよう



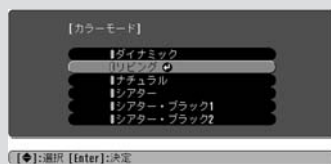
映り具合を選ぶ(カラーモード)



ワイド画面で映像を投写する(アスペクト)



セレクトメニューの操作



リモコンの か、操作パネルの を押して項目を選択します。

か を押して決定します。

※ を押すと、セレクトメニューを終了します。



ポイント

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害するおそれがあります。

オートで投写すると

[Video]、[S-Video]入力端子からの信号、[InputA]端子からのコンポーネントビデオ(525i、525p)信号を投写すると、次のように信号に応じて最適なアスペクトに切り替わります。

- 4:3の入力信号 → ノーマル
- スクイーズ記録された入力信号 → スクイーズ
- レターボックスの入力信号 → ズーム






※ 接続機器がEIAJ規格に対応していないときはノーマルになります。

Ⓜodeを押し、使用シーンに応じてセレクトメニューで6種類のカラーモードから選択します。環境設定メニューで設定することもできます。

- ダイナミック** : 明るい部屋で使用するのに適しています。
- シアター** : 暗い部屋で使用するのに適しています。
- リビング** : カーテンを閉めた部屋で使用するのに適しています。
- シアター・ブラック1** : 完全に遮光された部屋で使用するのに適しています。
- ナチュラル** : 暗い部屋で使用するのに適しています。色調整は、このモードから行うことをお奨めします。
- シアター・ブラック2**
 - 1: DVDソフト作成時などに使用するプロフェッショナルモニターのような、クリアな色調。
 - 2: 映画館で映画を見るような、暖かく深みのある色調。

「ナチュラル」「シアター」「シアター・ブラック1」「シアター・ブラック2」を選択すると、自動的にエプソンシネマフィルタが装着され、映像全体がしまり、人物の肌の色もより自然な色合いになります。

ⓂASPを押し、セレクトメニューからアスペクトモードを選択します。

入力信号	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常のテレビ放送の映像 ● スタANDARDサイズ(4:3)の映像 ● コンピュータ映像 	ビデオカメラ・DVDソフトなどのスクイーズ記録された映像	DVDなどのレターボックスの映像
推奨アスペクトモード	ノーマル	スクイーズ	ズーム
結果	 <p>左右に黒い帯が表示されます。</p>	 <p>入力信号をパネル解像度の幅に合わせて映像を投写します。</p>	 <p>入力信号をパネル解像度の高さに合わせて映像を投写します。</p>
備考	<p>HDTV*の映像を投写した場合は、16:9の映像になります。</p> 	<p>4:3の映像を投写した場合は、横長の映像になります。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4:3の映像を投写した場合は、上下がカットされます。 ● 字幕付きの映像の字幕が切れるときは、環境設定メニューの「ズーム字幕調整」で調整できます。☞ p.27

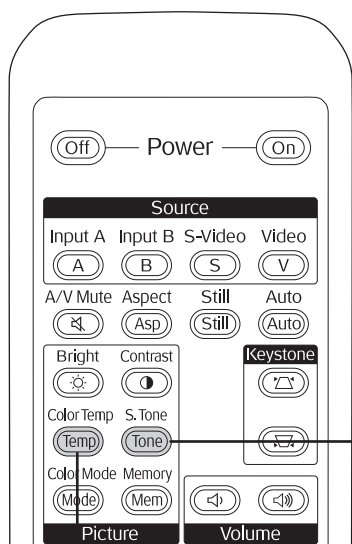
こだわりの色調整をしよう

本機は、「カラーモード」を選択して、投写する映像に応じた最適な色設定にすることができます。

さらに、ご自分のお好みに合わせて絵作りをしたい場合は、「色温度」[▶]、「肌の色調整」を調整してください。

調整値はメモリに登録して、いつでも呼び出して映像に反映させることができます。

📖 p.22



肌の色調整

[肌の色調整]

肌の色調整

[◀▶]:調整

色温度

[色温度]

高

中

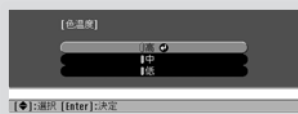
低

[◀▶]:選択 [Enter]:決定

セレクトメニューの操作



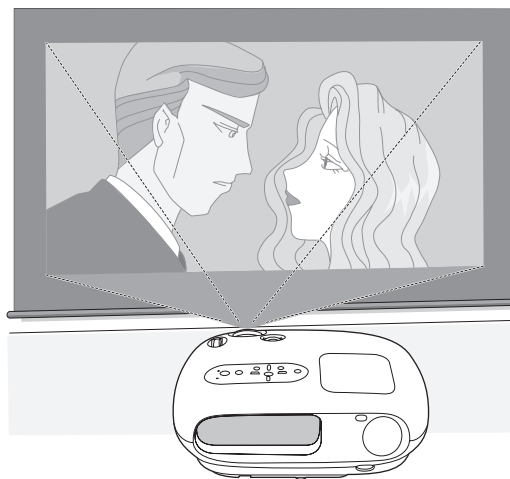
リモコンの ◀ ▶ か、操作パネルの ◀ ▶ を押して調整します。



リモコンの ◀ ▶ か、操作パネルの ◀ ▶ を押して項目を選択します。

Enter か ▶ を押して決定します。

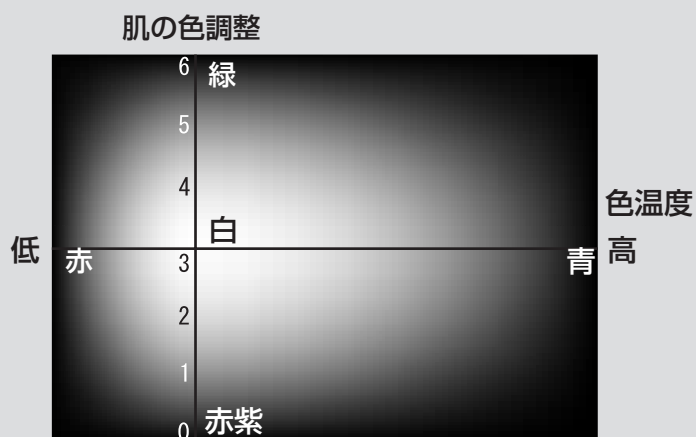
※ Enter を押すと、セレクトメニューを終了します。



人物の肌の色をお好みの色に調整します。
 「カラーモード」の設定によって自動的に装着されるエプソンシネマフィルタで、肌の色は自然な色合いになります。より、お好みの肌の色にする場合に、この「肌の色調整」で調整します。
 +側に設定すると緑がかった色になり、-側に設定すると赤紫がかった色になります。

映像全体の色合いを調整します。
 「高」を選択すると、青みがかった映像になり、「低」を選択すると赤みを帯びた映像になります。
 テレビ録画された映像は「高」、映画などの映像は「低」にするなど、ご覧になる映像に応じて「高」・「中」・「低」の3段階から選択します。

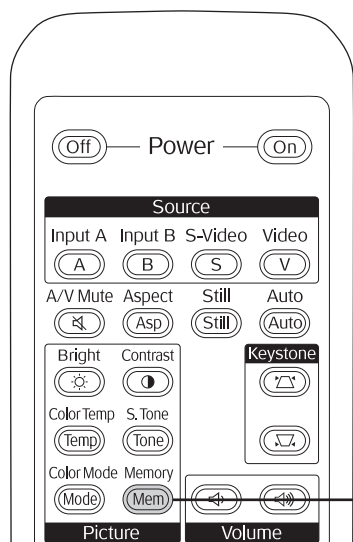
色温度・肌の色調整



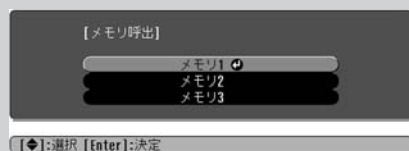
登録した画質で映像を見よう（メモリ機能）

環境設定メニューの「画質調整」や「画面調整」などで投写映像を調整したあとで、その調整値を登録することができます。

登録した調整値を簡単に呼び出すことができるので、いつでも容易にお好みの画質で映像を楽しめます。



セレクトメニューの操作



リモコンの か、操作パネルの を押して項目を選択します。

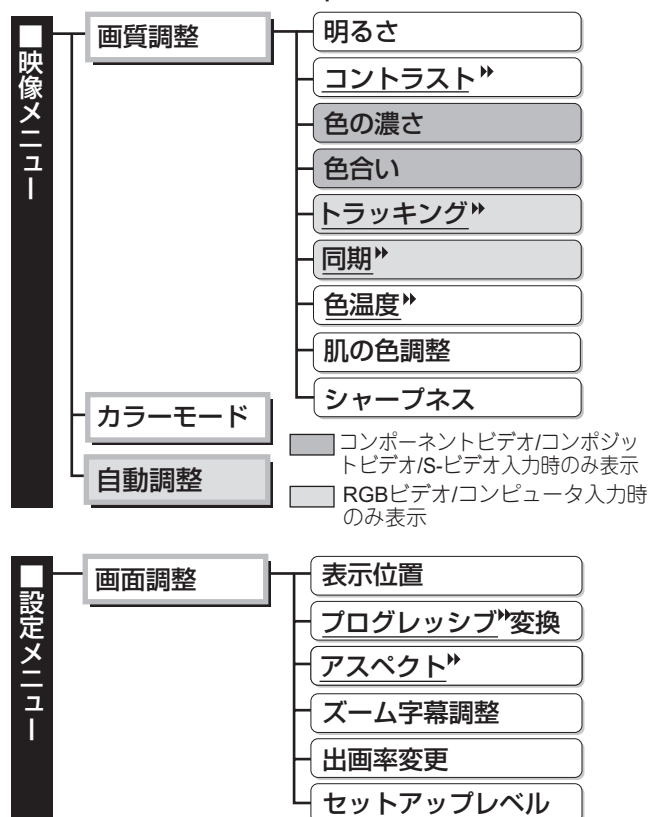
か を押して決定します。

※ を押すと、セレクトメニューを終了します。

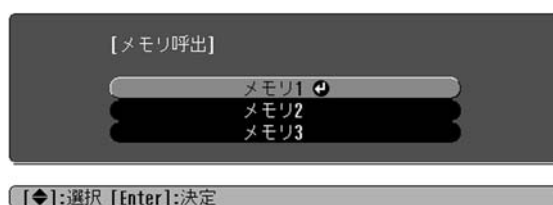
画質の登録(メモリ登録)

メモリに登録できる設定

- 環境設定メニュー p.24





登録した画質の呼び出し(メモリ呼出)




左記の環境設定メニューの各項目で調整した結果を登録できます。
登録は環境設定メニューの「映像」→「メモリ登録」で行います。

メモリを登録する方法を説明します。


- 1 登録したい状態に各設定を調整しておきます。
- 2 環境設定メニューの「映像」→「メモリ登録」を選択し、を押します。
- 3 メモリ1～3から登録するメモリ名を選択し、を押します。

メモリ名の左にあるの色で次のように登録の状態を表しています。

 (緑色):登録済み  (灰色):未登録  (オレンジ色):選択中

登録済みのメモリを選択し を押すと、前の調整値が消えて現在の調整値が登録されます。

登録したメモリをすべて消去する場合は、環境設定メニューの「初期化」→「メモリ初期化」で行います。☞ p.30

を押し、セレクトメニューから目的のメモリ名を選択します。

- メモリを呼び出した結果は、本機の電源をオフにしても保持されます。次回電源を入れたときには同じメモリの調整値で映像を投写します。
- **ポイント** 16:9の映像や、入力映像の解像度によって、呼び出したメモリのアスペクトが投写映像に反映されない場合があります。

環境設定メニューの機能

環境設定メニューでは、画面、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。



操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(p.31)をご覧ください。



環境設定メニューは、カラーパターンを変更できます。
 「設定」→「表示設定」→「メニューカラー」

ポイント

環境設定メニュー一覧

映像信号が何も入力されていないときは、「映像」メニューでは「自動調整」以外は調整できません。「映像」メニュー、「情報」メニューは投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

映像メニュー	画質調整 <small>p.26</small>	明るさ	
		コントラスト	
		色の濃さ	
		色合い	
		トラッキング	
		同期	
		色温度	高、中、低
		肌の色調整	
		シャープネス	
	カラーモード <small>p.26</small>	ダイナミック, リビング, ナチュラル, シアター, シアター・ブラック1, シアター・ブラック2	
メモリ登録 <small>p.26</small>	メモリ1, メモリ2, メモリ3		
メモリ呼出 <small>p.26</small>	メモリ1, メモリ2, メモリ3		
自動調整 <small>p.27</small>	オン, オフ		
初期化 <small>p.27</small>	はい, いいえ		

コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ/S-ビデオ入力時のみ表示
 RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示

設定メニュー

画面調整  p.27

- 表示位置
- プログレッシブ[™]変換 オン, オフ
- アスペクト[™] オート, ノーマル, スクイーズ, ズーム
- ズーム字幕調整
- 出画率変更 通常, 拡大
- 台形補正
- 設置モード フロント, フロント・天吊り, リア, リア・天吊り
- セットアップレベル 0%, 7.5%

縦サイズ
表示位置

コンポーネントビデオ/RGBビデオ入力時のみ設定可能

コンポーネントビデオの525i、525p信号入力時、コンポジットビデオとS-ビデオのNTSC信号入力時のみ設定可能

動作設定  p.28

- ダイレクトパワーオン オン, オフ
- スリープモード オフ, 5分, 10分, 30分
- チャイルドロック オン, オフ
- 高地モード オン, オフ

ユーザーロゴ  p.29

表示設定  p.29

- メニューカラー カラー1, カラー2
- メッセージ表示 オン, オフ
- 背景色 黒, 青, ロゴ
- スタートアップスクリーン オン, オフ
- 型番表示モード オン, オフ

入力信号選択  p.30

- ビデオ信号方式 オート, NTSC[™], NTSC4.43, PAL[™], M-PAL, N-PAL, PAL60, SECAM[™]
- InputA Component, RGB-Video

音量  p.30

言語  p.30 日本語, English, Français, Deutsch, Italiano, Español, Portuguesa, 中文, 한국어

初期化  p.30 はい, いいえ

情報メニュー

- ランプ点灯時間
 - ランプ交換時期になると、文字が黄色で表示されます。
 - 0~10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。
- 入カソース
- 入力信号
- 入力解像度
- ビデオ信号方式
- リフレッシュレート[™]
- 同期[™]情報

初期化メニュー

- 全初期化  p.30 はい, いいえ
- メモリ初期化  p.30 はい, いいえ
- ランプ点灯時間初期化  p.30 はい, いいえ

■ コンポジットビデオ/S-ビデオ入力時のみ表示
 ■ コンポーネントビデオ/RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示
 ■ RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示

情報メニューでは本機の状態表示のみを行います。

映像メニュー

コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ/S-ビデオ入力時のみ表示
 RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示

画質調整

明るさ ※1

映像の明るさを調整することができます。
暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは調整値を低くします。

コントラスト ※1

映像の明暗の差を調整します。
コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。

色の濃さ ※1

映像の色の濃さを調整します。

色合い ※1

(**コンポジットビデオ**▶、**S-ビデオ**▶は**NTSC**▶系の信号入力時のみ調整可能)
映像の色合いを調整します。

トラッキング▶ ※1

映像に縦の縞模様が出るときに調整します。

同期▶ ※1

映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
 ●ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。
 ●トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。

色温度▶ ※2

映像全体の色合いを調整する場合に、3種類から選択します。👉 p.20

肌の色調整 ※2

肌の色をお好みの色に調整します。👉 p.20

シャープネス ※1

映像のシャープ感を調整します。

カラーモード ※1

投写する映像に合わせて、色調整を6種類から選択します。👉 p.18

メモリ登録

現在の環境設定メニューの設定値を登録できます。👉 p.22

メモリ呼出 ※1

「メモリ登録」で登録した設定値を呼び出します。👉 p.22

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※2 入力ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

自動調整 ※1

入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。自動調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の3項目です。

初期化

「映像」メニューのうち、「メモリ登録」で登録したメモリ以外のすべての調整値を初期値に戻します。「メモリ登録」は「メモリ初期化」で初期化します。☞ p.30

設定メニュー**画面調整****表示位置** ※1

映像の表示位置を  を押して移動します。

プログレッシブ 変換 ※1

(コンポジットビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオとRGBビデオの525i、625i信号入力時のみ設定可能)

- オフ: 各フィールドの画面内で インターレース (i) 信号を プログレッシブ (p) に変換します。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。
- オン: インターレース (i) 信号を プログレッシブ (p) に変換します。静止画に適しています。

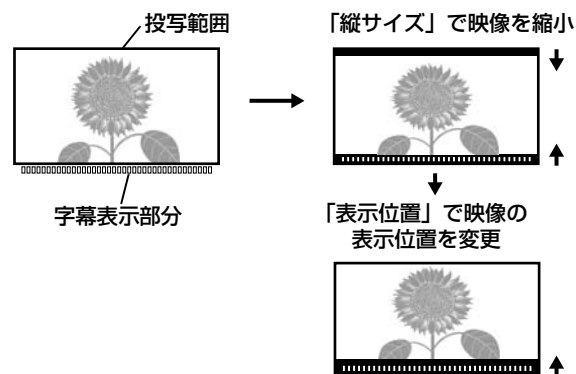
アスペクト 変換 ※1

アスペクトモードを選択します。☞ p.18

ズーム字幕調整 ※1

アスペクト 変換を「ズーム」に設定し字幕つき映像を投写している場合に、以下の設定を行って字幕を表示します。縦サイズと表示位置は組み合わせて設定できます。

- 縦サイズ:
映像の縦サイズを縮小し、字幕を表示します。
- 表示位置:
映像全体を上へ移動し字幕を表示します。



※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

出画率変更 ※1

コンポーネントビデオ、RGBビデオ信号入力時のみ出画率(投写する映像の範囲)を変更できます。

通常(92%表示):入力信号の通常の範囲を投写します。テレビ映像などは92%で表示されま

す。
 拡大:100%で表示されます。通常では見ることのできない、映像の上下左右を入れて投写します。映像信号によっては上下左右にノイズが入る場合があります。その場合は、表示位置を調整してノイズを見えなくすることができます(映像信号によってはノイズが残る場合があります)。☞ p.27

台形補正

台形にゆがんだ映像を補正します。本体操作パネルからも同じ補正ができます。☞ p.17

設置モード

本機の設置状態に応じて設定します。

- フロント:スクリーン正面から投写する場合に選択します。
- フロント・天吊り:天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。
- リア:リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。
- リア・天吊り:天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。

セットアップレベル ※1

(コンポジットビデオとS-ビデオのNTSC^{▶▶}信号、コンポーネントビデオの525i、525p信号入力時のみ設定可能)

韓国向けの製品など黒のレベル(セットアップレベル)が違う機器を使用する際に変更します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。


動作設定

ダイレクトパワーオン


ダイレクトパワーオンさせる(オン)／させない(オフ)を設定します。



「オン」に設定しているときは、停電復旧時などに、コンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますので、注意してください。

スリープモード

本機は、信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スリープモードが働くまでの時間を4種類から選択します。「オフ」にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、を押すと投写を再開します。

チャイルドロック

お子様が、誤って電源を入れてレンズをのぞかないように、操作パネルのでの電源オンをロックします。

ロック時は、を約3秒間押し続けると電源が入ります。で電源を切ったり、リモコンでの操作は通常どおり行えます。

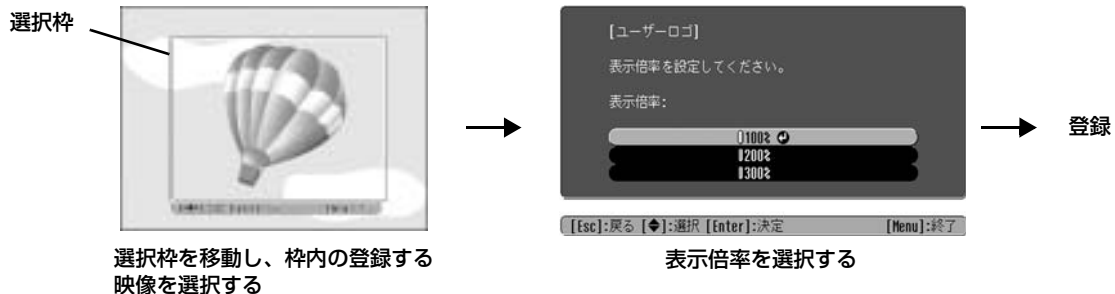
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した以降、設定が有効になります。

高地モード

内部温度を下げるためのファンの回転速度を設定します。
 標高約1500m以上でお使いの場合は「オン」にします。

ユーザーロゴ

投写開始時やAVミュート時に投写させるロゴ画像を登録できます。ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。登録を行う場合は、画面の指示に従って操作してください。



- 選択枠表示中は映像をドット表示にするために、表示サイズが変わることがあります。
- 登録できるサイズは 400 × 300 ドットです。
- 一度登録すると初期設定状態には戻りません。
- 登録したユーザーロゴを使う場合は、「背景色」を「ロゴ」に設定します。

表示設定

メニューカラー

トップメニューと操作ガイドの色合いを選択します。

- カラー1 : 紫色
- カラー2 : 黒色

メッセージ表示

次のメッセージ表示をする(オン)/しない(オフ)を設定します。

- 映像信号やカラーモード、アスペクト、メモリ呼び出し時の項目名表示
- 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時

背景色

AVミュート状態時や映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。

スタートアップスクリーン

スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した以降、設定が有効になります。

型番表示モード

プロジェクターの型番を表示します。

入力信号選択

ビデオ信号方式

[Video]入力端子、または[S-Video]入力端子に接続しているビデオ機器に応じて信号方式を設定します。「オート」にすると、自動的にビデオ信号を設定します。「オート」にしても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。

InputA

[InputA]端子に接続しているビデオ機器の出力信号に応じて選択します。

音量

音量を調整します。

言語

メッセージやメニューに表示する言語を設定します。

初期化

「設定」メニューのうち、「アスペクト」、「チャイルドロック」、「高地モード」、「InputA」、「言語」以外のすべて調整値を初期値に戻します。

初期化メニュー

全初期化

環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。「チャイルドロック」、「InputA」、「言語」、「ランプ点灯時間」は初期値に戻りません。

メモリ初期化

「メモリ登録」に登録している内容をすべて初期化(消去)します。

ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。

環境設定メニューの操作

1 メニューの呼び出し

Ⓜを押します。

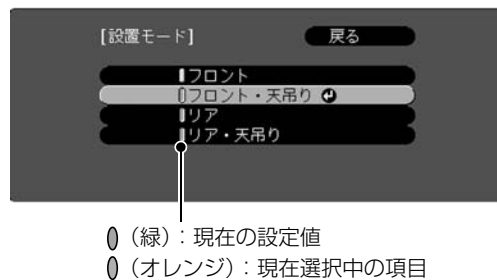
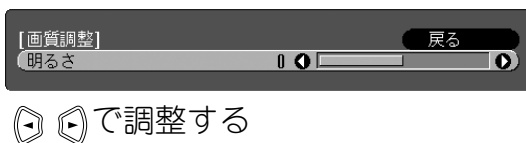


2 項目選択

⏪ ⏩ で項目を選び Ⓜを押します。

3 設定の変更

例:)



○ (緑)：現在の設定値
○ (オレンジ)：現在選択中の項目

⏪ ⏩ で項目を選び Ⓜを押す

Ⓜが表示されている項目で Ⓜを押すと、その項目の選択画面に移行します。
一階層戻るときは、Ⓜを押すか、「戻る」を選び Ⓜを押します。

4 設定の終了

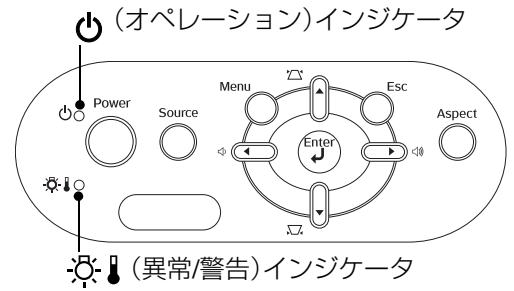
Ⓜを押します。

故障かなと思ったら

インジケータの見方

本機は、次の2種類のインジケータで本機の状態を知らせています。
下表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

※インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または、電気が供給されていません。



② (異常/警告)インジケータ 点灯・点滅時

異常/警告

●:点灯 ☼:点滅

<p>赤</p> <p>☼ ●</p> <p>(1秒ずつ点灯/消灯)</p>	<p>内部異常 / ファン異常 / センサ異常</p> <p>注意 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞ 裏表紙</p>
<p>赤</p> <p>☼ ●</p> <p>(0.5秒ずつ点灯/消灯)</p>	<p>ランプ異常 / ランプ点灯失敗 ランプが割れていないか確認します。☞ p.40</p> <p>ランプが割れていなければ ランプを再セットし、本機の電源を入れます。</p> <p>ランプを再セットしても直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞ 裏表紙</p>
<p>赤</p> <p>☼ ●</p>	<p>内部高温異常(オーバーヒート) ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態待ちます。</p> <p>壁際に設置している場合は、壁と排気口の間を20cm以上開けてください。 エアーフィルタが目詰まりしているときは、掃除をしてください。☞ p.38</p> <p>電源入れたとき、改善されない場合は、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞ 裏表紙</p>
<p>オレンジ</p> <p>☼ ●</p>	<p>高速冷却中 このまま投写を続けられますが、さらに高温になると投写を自動的に停止します。</p>

① (オペレーション)インジケータ 点灯・点滅時

正常

② (異常/警告)インジケータは消灯しています。

●:点灯 ☼:点滅

<p>オレンジ</p> <p>●</p>	<p>スタンバイ状態 (On)を押すと、しばらくして投写を開始します。</p>
<p>緑</p> <p>●</p>	<p>ウォームアップ中 ウォームアップの時間は約30秒です。ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。</p>
<p>緑</p> <p>●</p>	<p>投写中 通常動作中です。</p>
<p>オレンジ</p> <p>●</p>	<p>クールダウン中 クールダウンは約20秒で終了します。クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。クールダウン中はリモコン、操作パネルからの操作は無効になります。</p>

インジケータを確認してもわからないとき

まず下記をご覧くださいになり、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

- **映像が表示されない** ㊦ 下記参照
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- **「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される** ㊦ p.34
- **「映像信号が入力されていません。」と表示される** ㊦ p.34
- **ぼやける、ピントが合わない** ㊦ p.35
- **ノイズが入る、乱れる** ㊦ p.35
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- **切れる(大きい)、小さい** ㊦ p.35
映像の一部分しか投写されないなど...
- **色合いが違う** ㊦ p.36
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
(コンピュータのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- **暗い** ㊦ p.36
- **自動的に投写が消える** ㊦ p.36

投写開始時のトラブル







- **電源が入らない** ㊦ p.37

その他のトラブル

- **音が出ない、小さすぎる** ㊦ p.37
- **リモコンで操作できない** ㊦ p.37

映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない


電源を入れましたか？	リモコンの  か、操作パネルの  を押します。
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 ㊦ p.14 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの  を押してA/Vミュートを解除します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オン」に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。 ㊦ 「設定」→「表示設定」→「メッセージ表示」 p.29
映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ  、S-ビデオ  入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ㊦ 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.30
	[InputA] 端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。 ㊦ 「設定」→「入力信号選択」→「InputA」 p.30 リモコンの  で切り替えることもできます。 ㊦ p.15

環境設定メニューの設定が間違っていないですか？	全初期化してみてください。☞ p.30
接続の作業を、本機やコンピュータの電源が入っている状態で行いましたか？ コンピュータ投写時のみ	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクション)キーが使えないことがあります。接続しているコンピュータと本機の電源を入れ直してください。
コンピュータ表示の出力先が、コンピュータ付属の画面のみに設定されていないですか？ コンピュータ投写時のみ	外部に映像信号を出力させます。外部のみ、または外部と付属のモニタ両方同時に出力されるように設定を切り替えてください。☞ コンピュータの『取扱説明書』『外部出力のしかた』や「外付けモニタへ出力のしかた」など

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ ^㉞ 、S-ビデオ ^㉞ 入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☞ 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.30
	[InputA]端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☞ 「設定」→「入力信号選択」→「InputA」 p.30 リモコンの (A) で切り替えることもできます。☞ p.15
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「入力解像度」で入力中の映像信号を確認し、「対応解像度一覧」で対応しているか確認してください。 ☞ 「情報」→「入力解像度」 p.25 ☞ 「対応解像度一覧」 p.44

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞ p.12
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの (A)、(B)、(S)、(V) が操作パネルの  で映像を切り替えます。☞ p.15
接続している機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタ以外(外部)にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタや付属モニタに表示されないモデルもあります。☞ コンピュータの『取扱説明書』『外部出力のしかた』や「外付けモニタへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクション)キーが使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☞ p.14

■ぼやける、ピントが合わない

ピント調整しましたか？	ピント調整を行います。☞ p.16
レンズカバーが付いていませんか？	レンズカバーを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は16:9スクリーンサイズの場合は73cm～1137cm、4:3スクリーンサイズの場合は90cm～1392cmです。この範囲で設置してください。☞ p.10
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	本機の傾きを小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☞ p.17
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ノイズが入る、乱れる

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ ^㉞ 、S-ビデオ ^㉞ 入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☞「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.30 [InputA]端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☞「設定」→「入力信号選択」→「InputA」 p.30 リモコンの ^㉞ で切り替えることもできます。☞ p.15
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞ p.12
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。
「同期 ^㉞ ・トラッキング ^㉞ 」は正しく調整されていますか？ コンピュータ、RGBビデオ 投写時のみ	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの「トラッキング」、「同期」で調整します。 ☞「映像」→「画質調整」→「トラッキング」、「同期」 p.26
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☞「対応解像度一覧」 p.44、コンピュータの『取扱説明書』など

■切れる(大きい)、小さい

アスペクトは正しく選択していますか？	^㉞ を押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。☞ p.18 字幕付きの映像を「ズーム」で投写している場合は、環境設定メニューの「ズーム字幕調整」で調整します。☞ p.27
「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ☞「設定」→「画面調整」→「表示位置」 p.27

<p>デュアルディスプレイの設定をしていませんか？</p> <p>コンピュータ投写時のみ</p>	<p>接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。</p> <p>☞ コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』</p>
<p>解像度の選択は正しいですか？</p> <p>コンピュータ投写時のみ</p>	<p>本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。</p> <p>☞ 「対応解像度一覧」 p.44、コンピュータの『取扱説明書』など</p>

■ 色合いが違う

<p>映像の信号形式の設定は合っていますか？</p>	<p>コンポジットビデオ^{▶▶}、S-ビデオ^{▶▶}入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。</p> <p>☞ 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.30</p> <p>[InputA]端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☞ 「設定」→「入力信号選択」→「InputA」 p.30 リモコンの (A) で切り替えることもできます。☞ p.15</p>
<p>ケーブル類が正しく接続されていますか？</p>	<p>投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☞ p.12</p>
<p>コントラスト^{▶▶}は正しく調整されていますか？</p>	<p>環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。</p> <p>☞ 「映像」→「画質調整」→「コントラスト」 p.26</p>
<p>適切なカラー調整に設定されていますか？</p>	<p>環境設定メニューの「色温度」、「肌の色調整」を調整してください。</p> <p>☞ 「映像」→「画質調整」→「色温度」、「肌の色調整」 p.26</p>
<p>色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？</p> <p>ビデオ機器投写時のみ</p>	<p>環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。</p> <p>☞ 「映像」→「画質調整」→「色の濃さ」、「色合い」 p.26</p>

■ 暗い

<p>映像の明るさは正しく設定されていますか？</p>	<p>環境設定メニューの「明るさ」を設定してください。☞ 「映像」→「画質調整」→「明るさ」 p.26</p>
<p>コントラスト^{▶▶}は正しく調整されていますか？</p>	<p>環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。</p> <p>☞ 「映像」→「画質調整」→「コントラスト」 p.26</p>
<p>ランプの寿命ではありませんか？</p>	<p>ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☞ p.40</p>

■ 自動的に投写が消える

<p>「スリープモード」が働いていませんか？</p>	<p>映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの (On) が、操作パネルの (Power) を押すと電源が入ります。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にします。</p> <p>☞ 「設定」→「動作設定」→「スリープモード」 p.28</p>
----------------------------	--

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

電源を入れましたか？	リモコンの(ON)か、操作パネルの ^{Power} を押します。
「チャイルドロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「チャイルドロック」を「オン」に設定している場合は、操作パネルの ^{Power} を約3秒間押し続けるか、リモコンの(ON)を押します。☞「設定」→「動作設定」→「ロック設定」→「チャイルドロック」p.28
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。☞ p.14 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、電源ケーブルが故障している可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞ 裏表紙

その他のトラブル

■ 音が出ない・小さすぎる

音声入力は正しく接続されていますか？	[Audio]入力端子にケーブルを接続しているか確認してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☞ p.17
AVミュートの状態になっていませんか？	リモコンの(⊘)を押してAVミュートを解除します。

■ リモコンで操作できない

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。操作可能範囲は、左右30°、上下15°です。☞ p.13
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。☞ p.13
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。☞ p.13
リモコンのボタンを30秒間以上押しつづけませんでしたが？	リモコンのボタンが30秒間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります(リモコンのスリープモード)。これにより、リモコンが何かの下敷きになっている場合も電池の消耗を減らすことができます。いったんボタンを離して再度操作してください。

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

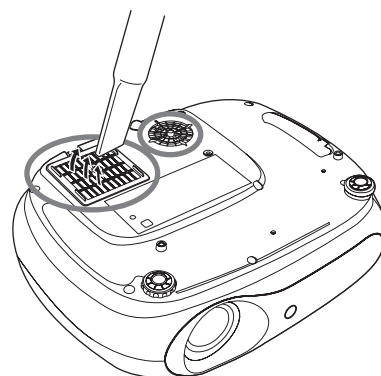
注意

掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

エアフィルタ・吸気口の掃除

エアフィルタや吸気口にホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルタの掃除や交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、エアフィルタや吸気口の掃除を行ってください。

エアフィルタや吸気口のホコリは、本機を裏返して、掃除機で吸い取ります。



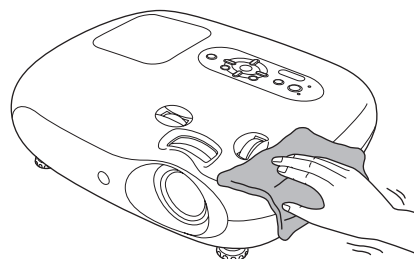
注意

エアフィルタや吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に一度はエアフィルタや吸気口の掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



注意

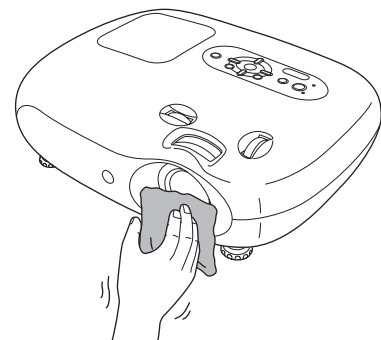
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たいたりしないでください。



消耗品の交換時期

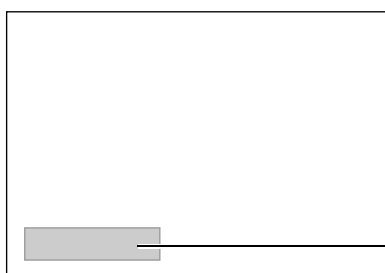
エアフィルタの交換時期

エアフィルタが破れたり、掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき
オプションの「エアフィルタ」と交換してください。

☞「エアフィルタの交換方法」p.40

ランプの交換時期

- 投写開始時に、「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



メッセージが表示されます。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



ポイント

- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約1900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使用の状況により変わります。
交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル0120-251528でお買い求めください。

消耗品の交換

エアフィルタの交換方法

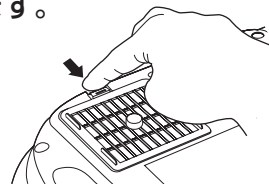


ポイント

使用済みのエアフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
材質: ポリプロピレン

1 電源を切りクールダウンが終了し、「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを外します。

2 エアフィルタカバーを外します。



つまみに指をかけて上に引きます。

ランプの交換方法

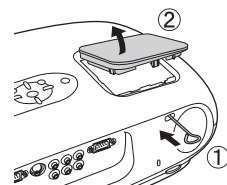
⚠ 警告

ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、ガスを吸い込んだり、目や口にガスやガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

1 電源を切りクールダウンが終了し、「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを外します。

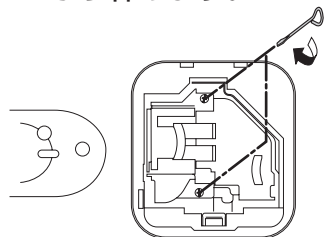
※ランプが冷えるまで待ちます(約1時間)。

2 ランプカバーを外します。

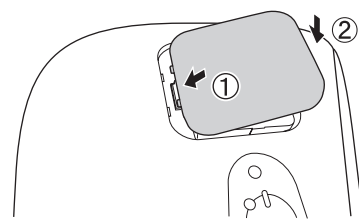


ランプカバー開スイッチに、オプションのランプに同梱のドライバを差し込んだまま取り外します。

6 ランプ固定ねじをしっかり締めます。



7 ランプカバーを取り付けます。



ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

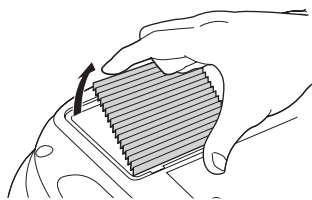
本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、このカウンタを元にランプ交換のメッセージを表示します。

1 **(On)** を押して電源を入れます。

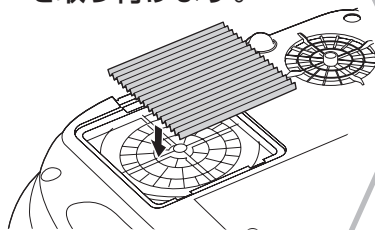
2 **(M)** を押して環境設定メニューを表示します。



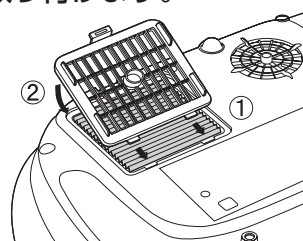
3 古いエアフィルタを取り外します。



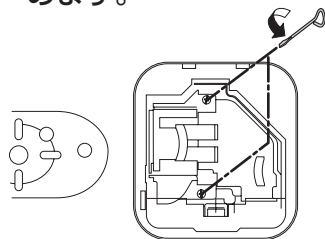
4 新しいエアフィルタを取り付けます。



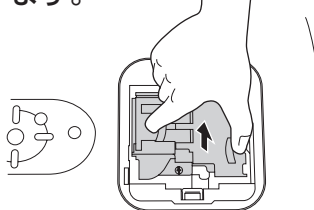
5 エアフィルタカバーを取り付けます。



3 ランプ固定ねじをゆるめます。

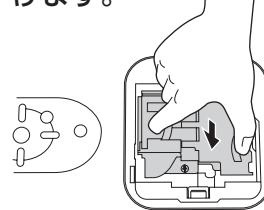


4 古いランプを取り出します。



まっすぐ引き抜きます。

5 新しいランプを取り付けます。

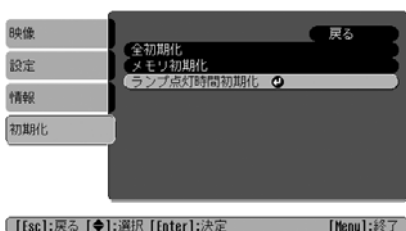


向きを合わせて押し込みます。

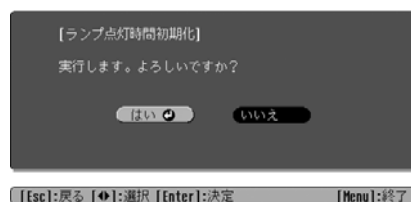
注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。本機は安全のため取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

3 「初期化」→「ランプ点灯時間初期化」を選択します。



4 「はい」を選択して **[Enter]** を押して実行します。



オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2005年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

交換用ランプ

ELPLP33

(ランプ1個、ドライバ1本)
使用済みランプと交換します。

エアフィルタ

ELPAF09

(エアフィルタ1枚)
使用済みのエアフィルタと交換します。

80型スプリングローラー式スクリーン

ELPSC15

巻き上げ式のスクリーンです。
(アスペクト16:9)

スクリーンスタンド

ELPSCST01

80型スプリングローラー式スクリーン用のスタンドです。

ソフトキャリングケース

ELPKS54

ハンドキャリングするときに使います。

天吊り金具※

ELPMB19

(天井プレート付き)
本機を天井に取り付けるときに使います。

パイプ600 (600mmホワイト)※

ELPFP07

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

対応解像度一覧

出画率の設定により、値が少し異なります。

コンポーネントビデオ▶

4:3 16:9 :アスペクト 単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	スクイーズ	ズーム
SDTV▶▶ (525i, 60Hz) (D1)	640×480 640×360※	640×480 4:3	854×480 16:9	854×480 16:9
SDTV(625i, 50Hz)	768×576 768×432※	640×480 4:3	854×480 16:9	854×480 16:9
SDTV(525p) (D2)	640×480 640×360※	640×480 4:3	854×480 16:9	854×480 16:9
SDTV(625p)	768×576 768×432※	640×480 4:3	854×480 16:9	854×480 16:9
HDTV▶▶ (750p)16:9 (D4)	1280×720	854×480 16:9	-	-
HDTV(1125i)16:9 (D3)	1920×1080	854×480 16:9	-	-

※レターボックス信号

コンポジットビデオ▶/S-ビデオ▶

4:3 16:9 :アスペクト 単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	スクイーズ	ズーム
TV(NTSC▶▶)	640×480 640×360※	640×480 4:3	854×480 16:9	854×480 16:9
TV(PAL▶▶, SECAM▶▶)	768×576 768×432※	640×480 4:3	854×480 16:9	854×480 16:9

※レターボックス信号

RGBビデオ/コンピュータ

単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	スクイーズ	ズーム
VGA▶60	640×480 640×360※2	640×480	854×480	854×480
VESA72/75/85, iMac※1	640×480 640×360※2	640×480	854×480	854×480
SVGA▶56/60/72/75/ 85/, iMac※1	800×600 800×450※2	640×480	854×480	854×480
XGA▶60/70/75/85, iMac※1	1024×768 1024×576※2	640×480	854×480	854×480
MAC13"	640×480	640×480	854×480	854×480
MAC16"	832×624	640×480	854×480	854×480
MAC19"	1024×768	640×480	854×480	854×480
SDTV▶(525i, 60Hz)	640×480 640×360※2	640×480	854×480	854×480
SDTV(525p)	640×480 640×360※2	640×480	854×480	854×480
SDTV(625i, 50Hz)	768×576 768×432※2	640×480	854×480	854×480
SDTV(625p)	768×576 768×432※	640×480	854×480	854×480
HDTV(750p)	1280×720	854×480	-	-
HDTV(1125i)	1920×1080	854×480	-	-

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

※2 レターボックス信号

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

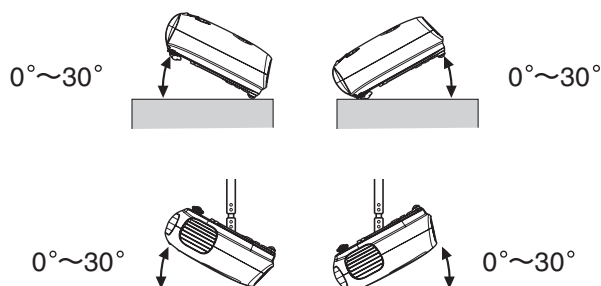
仕様一覧

商品名	ホームプロジェクター EMP-TW20	
外形寸法	373(幅)×111(高さ)×295(奥行き)mm(フット含まず)	
パネルサイズ	0.55型	
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス	
画素数	409,920個(横854×縦480ドット)×3	
走査周波数	アナログ	ピクセルクロック : 13.5~110MHz
		水平 : 15~92kHz
		垂直 : 50~85Hz
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	手動(約1:1.5)	
レンズシフト	手動(上下方向最大約50%、左右方向最大約25%)	
ランプ(光源)	UHEランプ 定格135W 型番:ELPLP33	
音声最大出力	1Wモノラル	
スピーカ	1個	
電源	100-240V±10%、50/60Hz AC 定格消費電力200W 待機時消費電力4.0W(100V時)	
使用温度範囲	+5℃~+35℃(結露しないこと)	
保存温度範囲	-10℃~+60℃(結露しないこと)	
質量	約3.5kg	
接続端子	InputA端子	1系統 3RCAピンジャック
	InputB端子	1系統 ミニD-Sub 15pin(メス)青色
	Video入力端子	1系統 RCAピンジャック
	S-Video入力端子	1系統 ミニDIN 4pin
	Audio入力端子	1系統 RCAピンジャック×2(L,R)
	Control(RS-232C)端子	1系統 D-Sub 9pin(オス)



本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

傾斜角度



30°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。

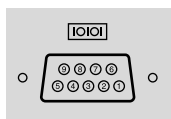
RS-232C ケーブル配線

- コネクタ形状 : D-sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名 : Control(RS-232C)

<プロジェクター側>



<コンピュータ側>



<プロジェクター側> (PCシリアルケーブル) <コンピュータ側>

GND	5	—————	5	GND
RD	2	←————	3	TD
TD	3	————→	2	RD
DTR	4	————→	6	DSR
DSR	6	←————	4	DTR

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

Safety

USA
UL60950 Third Edition
Canada
CSA C22.2 No.60950
European Community
The Low Voltage Directive
(73/23/EEC)
IEC60950 3rd Edition

EMC

USA
FCC Part 15B Class B (DoC)
Canada
ICES-003 Class B
European Community
The EMC Directive
(89/336/EEC)
EN55022 Class B
EN55024
IEC/EN61000-3-2
IEC/EN61000-3-3
Australia/New Zealand
AS/NZS CISPR 22:2002 Class B

DECLARATION of CONFORMITY

According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We :EPSON AMERICA, INC.
Located at : 3840 Kilroy Airport Way
MS: 313
Long Beach, CA 90806
Tel : 562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name : EPSON
Type of Product : Projector
Model : EMP-TW20

**FCC Compliance Statement
For United States Users**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

HDTV

High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。

- ・垂直解像度750p、1125i以上
- (pはプログレッシブ▶▶走査、iはインターレース▶▶走査)
- ・画面のアスペクト▶▶は16:9
- ・ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)

NTSC

National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。

PAL

Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外のヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。

SDTV

Standard Definition Televisionの略で、HDTV▶▶の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。

SECAM

SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。

SVGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。

S-ビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。

Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。

VGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。

XGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。

YCbCr

現行のテレビ(NTSC▶▶方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。

Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。

YPbPr

ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。

アスペクト

画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクトは4:3です。

色温度

光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。

インターレース

静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済むことをいいます。

クールダウン

投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本機の電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。クールダウン時間は、約20秒です。

コントラスト

色の明暗の差のことです。コントラストを強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりします。

コンポーネントビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。

ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。

コンポジットビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC▶▶方式)です。

カラーバー信号の中での伝送用信号Y(輝度信号)とCbCr(クロマ(色)信号)からできている映像を言います。

盗難防止用ロック

プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部

〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル)

Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367

同期(Sync.)

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

プログレッシブ

1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する方式をいいます。

リフレッシュレート

ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

アルファベット

Audio 入力端子.....	8,12
A/V ミュート.....	7
Control(RS-232C) 端子.....	8
HDTV.....	43
InputA 端子.....	8,12,15,45
InputB 端子.....	8,12,45
RGB ビデオ.....	12,44
S-Video 入力端子.....	8,12,45
Sビデオ.....	12,43
SDTV.....	43
Video 入力端子.....	8,12,45
YCbCr.....	12
YPbPr.....	12

アイウエオ

ア

明るさ.....	7,24,26
アスペクト.....	7,18,25,27,43
異常 / 警告インジケータ.....	6,32
色合い.....	24,26
色温度.....	7,20,24,26
色調整.....	20
色の濃さ.....	24,26
インジケータ.....	6,32
エアフィルタ.....	8
エアフィルタの交換方法.....	40
エアフィルタの掃除.....	38
映像のゆがみを補正.....	6,7,17
映像メニュー.....	24,26
オート.....	18
オーバーヒート.....	32
オプション品.....	42
オペレーションインジケータ.....	6,32
音量.....	6,7,17,25,30

カ

解像度.....	43
画質調整.....	24,26
画面調整.....	25,27
カラーモード.....	7,18,24,26
環境設定メニュー.....	24
環境設定メニューの操作方法.....	31
吸気口.....	8
吸気口の掃除.....	38
クールダウン.....	15,32
言語.....	25,30
高地モード.....	25,28
コントラスト.....	7,24,26
コンピュータとの接続.....	12
コンポーネントビデオ.....	12,43
コンポジットビデオ.....	12,43

サ

サブメニュー.....	24
-------------	----

自動調整.....	14,24,27
シネマフィルタ.....	21
シャープネス.....	24,26
終了.....	15
出画率変更.....	25,28
仕様一覧.....	45
情報メニュー.....	25
初期化.....	24,25,27,30
初期化メニュー.....	25,30
ズーム字幕調整.....	19,25,27
ズーム調整.....	6,16
ズーム.....	19
スクイーズ.....	19
スクリーンサイズ.....	10
スタートアップスクリーン.....	25,29
スピーカ.....	8
スリープモード.....	25,28
静止.....	7
接続端子.....	8,12,45
設置方法.....	11
設置モード.....	11,25,28
設定メニュー.....	25,27
セットアップレベル.....	25,28
セレクトメニュー.....	15,18,20,22
全初期化.....	25,30
操作ガイド.....	24

タ

対応解像度.....	43
台形補正.....	6,7,17,25,28
チャイルドロック.....	25,28
電源ケーブル.....	14
電源端子.....	8,14
電池の交換時期 (リモコン).....	13
電池の交換方法.....	13
天吊り.....	11,25,28
同期.....	24,26
同期情報.....	25
動作設定.....	25,28
投写映像サイズ.....	10
投写映像の位置調整.....	16
投写距離.....	10
投写方法.....	11
トップメニュー.....	24
トラッキング.....	24,26

チ

入力解像度.....	25
入力信号.....	25
入力信号選択.....	25,30
入力ソース.....	25
入力ソース切り替え.....	6,7,15
ノーマル.....	18

ハ

背景色.....	25,29
肌の色調整.....	7,20,24,26
ビデオ機器との接続.....	12

ビデオ信号方式	25,30
表示位置	25,27
表示設定	25,29
ピント調整	6,16
フォーカス調整	6,16
プログレッシブ変換	25,27
フロントフット	6,16
本機の傾きを補正	16
本体操作パネル	6
本体の掃除	38

マ

メッセージ表示	25,29
メニュー	24
メニューカラー	25,29
メモリ	7,22
メモリ初期化	25,30
メモリ登録	24,26
メモリ呼出	24,26

マ

ユーザーロゴ	25,29
--------------	-------

ラ

ランプ点灯時間	25
ランプ点灯時間の初期化	25,30,40
ランプの交換方法	40
ランプカバー	6,40
リフレッシュレート	25
リモコン	7,13
レンズカバー	6,14
レンズシフト	6,16
レンズの掃除	38

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にしてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

Windows、WindowsNT、VGA は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。

3LCD ロゴはセイコーエプソン株式会社の商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひ活用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

☎0570-004110 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00 (祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドアtoドアサービス(修理品有償ピックアップサービス)に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **☎0570-090-090** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。


*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く) ※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諒訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

愛情点検  長年ご使用の プロジェクターの点検を! <small>熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。</small>	こんな症状はありませんか? <ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●電源コードが傷んだ。 	ご使用中止 コンセントから電源プラグを抜いて必ず取扱販売店にご相談ください。
--	---	--

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社(ホームページアドレス <http://epson-supply.jp> またはフリーダイヤル0120-251528)でお買い求めください。

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

71205002



この取扱説明書は再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in China
410204800
05.XX-.XA(G04)